

報道関係者各位(企業情報)

2024年4月16日

## 「送料無料表示」を見直し、物流 2024 年問題に対応 配送従事者の負担解消に向けて「置き配」や「おまとめ配送」を推進

株式会社ファンケルは 5 月 8 日(水)より、当社通信販売サイト「ファンケルオンライン」をはじめ、会報誌・広告などの「送料無料」の表示を見直し、「送料はファンケル負担」もしくは「送料当社負担」へと切り替えます。物流 2024 年問題に対応したもので、持続可能な物流の実現に寄与してまいります。

当社は通信販売によるご注文が年間約 700 万件あり、これまでも配送業者と密に連携しながら、お客様に製品をお届けしてまいりました。2023 年 12 月 19 日の消費者庁による販売事業者への自主的な対応の要請を受けて、送料無料の表示を見直すに至りました。



お客様へのご案内イメージ画像

そのほかにも、4 月 18 日(木)から 6 月 30 日(日)までの期間限定で、配送回数削減による、環境負荷低減とドライバーの皆様への負担軽減を目的とした取り組みを 2 つ実施します。

### ① 通信販売における再配達の減少を目的とした「置き配」の推進

同サービスを選択してご注文いただいたお客様に、1 回当たり 10 ポイントのファンケルポイント<sup>※1</sup>を付与します。

※1 1 ポイント=1 円としてお支払い金額(税込・送料除く)からお値引きする、ファンケルのポイントサービス

### ② 複数回の注文をまとめて配送する「おまとめ配送」の推奨

「おまとめ配送」とは、「ファンケル定期便」をご注文いただいているお客様が別製品をご注文の際に、「ファンケル定期便」の注文製品と一緒に配送する方法です。1 回当たり通常 30 ポイントのところ、60 ポイントを付与します。

物流の人手不足が懸念される「物流 2024 年問題」では、何も対策を講じなければ、2024 年度には 14%、2030 年度には 34%の輸送力が不足する可能性があると言われております<sup>※2</sup>。重要な社会インフラとなっている物流を持続させていくための取り組みとして、「送料無料表示」の見直し、「置き配」「おまとめ配送」を推進してまいります。

今後も通信販売事業者として、荷主企業の責任を果たすべく、物流課題解消のために積極的に取り組んでまいります。

※2:我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議「物流革新に向けた政策パッケージ」[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/buturyu\\_kakushin/index.html](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/buturyu_kakushin/index.html)